



ギターの女王 in Sapporo 2025



マリア・エステル・グスマン

María Esther Guzmán
Recital de la Guitarra

ギターリサイタル

予定プログラム

『アルハンブラの思い出』
『アランフェス協奏曲』ほか
with Yoko Takaki - Piano



高木 洋子 (ピアノ)

10月17日(金) 開演 19:00
(開場18:30)

六花亭 ふ・きのとうホール

(六花亭 札幌本店 6F 札幌市中央区北4条西6丁目3-3)

主催：カンパニージャ札幌

後援：駐日スペイン大使館／札幌市／札幌市教育委員会／北海道新聞社

株式会社エフエムとよひら (FMアップル)／カンパニージャ／プリマベラ

協力：渋谷ギター音楽院／宮下祥子ギター教室／吉住ギター・マンドリン教室

カフェふらっと／円山カンタービレ

チケット取り扱い：道新プレイガイド／札幌市民交流プラザチケットセンター／チケットぴあ
そのほか協力先でもお求めいただけます

お問合せ先：campanillasapporo@gmail.com

入場前売券：3,500円

(自由席／当日券4,000円)

学生券 2,000円 (大学生以下)



道新チケット



web予約フォーム



チケットぴあ

Profiles

◆ マリア・エステル・グスマン (ギター)

María Esther Guzmán

www.mariaestherguzman.net



マリア・エステルは母方が代々ゲルボスという姓をもつ名門音楽家の流れをくみ、彼女はその第8代目にあたる。この名家を引き継ぐマリア・エステルはセビーリャに生れ、4歳で同地のロペ・デ・ベガ劇場でデビュー。11歳でスペイン国営放送局主催の音楽コンクールで優勝し、12歳の時に巨匠アンドレス・セゴビアにその演奏を讃えられた。「アンドレス・セゴビア国際ギターコンクール」他、国内外での国際コンクールでの優勝・入賞多数。その後も活発な演奏活動を続け、ヨーロッパ、アジア、アメリカの主要なホールにて演奏、また各地の著名オーケストラとも共演している。1994年アンダルシア音楽賞、また、「フリアン・アルカス」のCDで音楽誌「リズム」より特別音楽賞を受賞。1998年にはセビーリャ音楽協会より、音楽家生活25周年（銀婚式）を表彰された。現在、演奏活動の傍ら、サン・フランシスコ・デ・パラウ音楽院にて教鞭をとり、海外でも多くのマスタークラスを行っている。2002年にセビーリャのサンタ・イサベル・デ・フングリア王立アカデミーの会員に任命。最近では、バレンシア音楽堂にて芸術文化功労賞を受賞し、2012年末にはリナレス市のアンドレス・セゴビア財団より、アンドレス・セゴビア賞のメダルを授与されている。

『ギターの女王』と称えられ、スペインに留まらず海外でも広く活躍している。日本には、1988年から毎年のように訪れており、多くのファンがいる。数多くのCDに加えて、4本のビデオ、DVD「レイエンダ〜伝説〜」などを収録し販売している。

◆ 高木洋子 (ピアノ)

www.yoko-takaki.com

横浜市出身。桐朋学園大学卒業後、スペインにてJ.M.クエンカ氏に師事。スペイン音楽や中南米音楽を中心に活動し、ギターとの共演も多数。マリア・エステル・グスマンほか名ギタリストと国内外で共演も多い。海外での国際フェスティバルでの演奏やコンクール審査員も務めている。

CD『スペイン音楽紀行』、「天使のミロンガ」、『クラベリートス』他多数、著書『スペインの風景〜音楽で彩るガイドブック』など好評発売中。

日本スペインピアノ音楽学会（JSSPM）副会長。

予定プログラム

アベ マリア（カッチーニ）
二つの小品（ヘンデル）
春（マンホン）
セビージャの聖体祭（アルベニス）
レイエンダ（アルベニス）
アラビア風奇想曲（ターレガ）
アルハンブラの思い出（ターレガ）
アダージョ〜アランフェス協奏（ロドリーゴ）
ほか



*都合によりプログラムに変更がある場合がございますが予めご了承ください。